親鸞聖人　報　恩　講　ご　案　内

謹啓　お彼岸が過ぎ、秋の気配が深まって参りました。ご門徒の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。さて、今年も宗祖親鸞聖人の「報恩講」を皆様と共に厳修させていただきます。

ご承知の通り、私ども「真宗門徒」はこの報恩講を唯一無二の仏事として、大切に丁寧に勤めることを本分としております。

どうぞ稱名寺と教え(浄土真宗)のご縁を深めて頂きたく、ここにご案内申し上げます。万障お繰り合わせの上、ご参集くださる事を切に念じております。　　合掌。

門信徒各位

２０１３年１０月　住職・総代・世話人一同

報恩講によせて

私たち真宗門徒が宗祖と仰ぐ親鸞聖人は、1262(弘長 2)年 11 月 28 日に、そのご生涯を終えられました。宗祖が果たされたお仕事の大切さを讃え、文字どおり恩徳に感謝し報いるための行事が報恩講です。一人ひとりが自分の生活を振り返り、宗祖の教えの意義を確かめる、一年でもっとも大切な御仏事です。

聖人のご一生は、「ついに念仏の息たえましましおわりぬ」と、まさに念仏に貫かれたものでした。この現実社会を生きていく中で、私たちは本願念仏の教えがどれほどかけがえのないものであるのかを確かめる機縁として、私たちのいただいてきた報恩講を大切にお勤めしたいものです。

東本願寺発行「報恩講」より

日時　１０月２６日(土)、２７日(日)

(日程の詳細は裏面をご覧下さい)

法話　佐々木 祐玄 氏

新潟県三条市　光善寺前住職

参加費　こころざし

※出・欠席の返信葉書を同封しております。１０月２１日までに必ず返信下さい。

住所・電話番号等変更された方はその旨通信欄にお書きの上、お知らせ下さい。

報恩講（ほうおんこう）　日程

期日　　２０１３年（平成２５）　１０月２６日(土)・２７日(日)

２６日(土)	午後１時	子ども報恩講	詳細は別紙、子ども報恩講のご案内をご覧下さい
	午後６時	逮夜法要（たいや）	お勤め(正信偈･御俗姓御文)
	午後７時	ご法話	佐々木祐玄氏 （新潟県三条市　光善寺前住職）
	午後８時頃	お斎（とき）	あずき粥・お酒
	午後９時半	終了	

２７日(日)	午前11時	開会	住職挨拶
		ビデオ上映	■親鸞への道（アニメ） ９歳で出家し、仏門に入った親鸞聖人。比叡山での修行に疑問を持ち、山を下り六角堂にこもって祈り続ける。夢の告げによって訪れた法然上人のもとには、あらゆる人と共に救われる仏教が開かれていた。しかし法然上人の教えは、秩序を乱し仏教を壊すものとして罪に問われ追放される。若き日の苦悩から、六角堂をへて吉水での出会い、越後への流罪とその生活。その歩みの中で問われ学んで誕生した親鸞聖人の半生を描く。
	正　　午	お斎(昼食)（とき）	手作り精進料理
	午後１時	日中法要（にっちゅう）	お勤め(正信偈･御文)
	午後２時	ご法話	佐々木祐玄氏 （新潟県三条市　光善寺前住職）
	午後３時	閉会	挨拶

※２７日の晨朝法要（じんちょうほうよう）は例年どおり午前8時より勤まります。

※１０月２８日の同朋の会はお休みです。

※お磨き奉仕のお願い――　１０月１４日（月・祝日）午前９時半より午後３時頃迄　――

毎年、稱名寺では報恩講をお迎えするにあたり、本堂・庫裏・境内の清掃とお仏具のお磨きをいたします。ご門徒の方々の手で一つ一つ丁寧に磨かれた仏具が荘厳され報恩講が勤められます。

作業しやすい服装で、お時間にお寺までお越し下さい。

（昼食は用意いたします。ご奉仕可能な時間だけでも結構です）